広がる社会貢献 **美容サロンのCSR活動**

地域に根差し、地域の人々を大切にしてきた美容サロンでは、「CSR」という言葉が使われる前から、地域清掃やお祭りへの手伝いなど、奉仕活動を当たり前に行ってきた。社会貢献や社会的責任は難しいことではない。近隣に手を差し伸べることで、地域にとってなくてはならない存在となっている美容サロンの取り組みを紹介する。

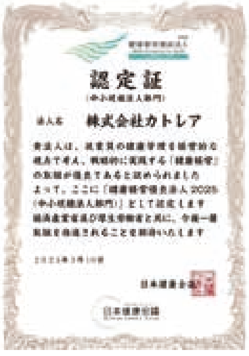
カトレアグループ

株式会社カトレア
代表
内堀（うちぼり） 章吾（しょうご）さん

地域清掃
営業前、定期的に感謝の気持ちを込めて地域清掃を行う。

40周年カトレアマルシェ
グループ40周年を記念するイベントとして「カトレアマルシェ」の開催を9月15日に鹿嶋市内の「Le Ciel byカトレアGroup」で企画中。

節分の豆まき
地域のシンボル的な存在である鹿島神宮とは縁が深く、婚礼や七五三、お宮参りなどお客様の人生の節目で携わってきた。2月の節分祭では、内堀さんと幹部スタッフ、その年の年男や年女が参加。裃や袴のお支度も手伝う。



健康経営と運動会
新入社員の歓迎会として運動会を実施。タオルの早畳みやワインディングのスピードを競うなど、美容グループならではのユニークな競技も。そうした取り組みが評価され、2025年、健康経営優良法人（中小規模法人部門）に認定された。

地域と共に、人の魅力を育む会社へ

茨城県内を中心に、ヘア、メイク、着付、エステティック、アイラッシュとトータルビューティを提供するカトレアグループ。「一生笑顔で働ける会社」を掲げ、美を通じてお客様、スタッフ、地域の方々に美しさがもたらす幸せを届け、笑顔を増やすことを企業理念におく。

「美容師も、エステティシャンも、アイリストも、お客様にずっと寄り添っていけるライフパートナーになってもらいたい。その地域、その人にとってなくてはならない存在になりたい」と二代目の内堀章吾さん。40周年を迎えた今期のスローガンは“共創”だ。

「共に創る未来を信じて、物心両面での豊かさを追求します。まずは自分たちやその仲間という、手の届く範囲の人の幸せがだんだんと大きな円となり、地域や社会へと波及していく。そんなイメージです。僕が考える持続的な成長とは、人の成長でしかありません。技術を磨き、目の前のお客様をきれいにして差し上げることは大前提。その上で、働くスタッフの人間性や人とのつながりが、これまで以上に大事になってきたと感じます。そうしたことを育むには、地域清掃を行ったり地域の行事に参加したり、地域や社会との接点を持つことが大いに役立ちます」。

何が地域に還元できるのか共に考えていく

一方で、地域貢献というのは売上に直結しにくく、スタッフから理解が得られにくい面もあるのではないだろうか。

「地域貢献から得られることは、スタッフそれぞれの視座が上がるといった無形の部分になります。カトレアではこの10年、地域清掃を行ってきましたが、続けることで成長へと繋がり、やがてはお客様の喜びに変わっていくことを、スタッフに根気よく伝え続けてきました。今ではカトレアグループの文化になりつつあると感じています」。

その思いが大きな実を結びそうなのが、9月に全店舗を挙げて行う40周年記念のマルシェだ。親子で訪れたお子様のヘアセットやメイク、ヘッドマッサージや前髪カット、十二単体験など盛りだくさんのイベントを計画中。

「地域への貢献は、いってしまえば社長である僕のエゴでもあります。それでも、会社としてこのエリアでできることはないか考えたスタッフたちから、この企画が上がった。そのことが非常に嬉しかったですね。何をもって、このイベントが成功したといえるのかは、まだわかりませんが、何を地域に還元できるのか共に考え、共に創る大切さと喜びを、改めて感じているところです」。

訪問美容で生涯顧客と共生を

ライフパートナーとして、お客様と一生のお付き合いを目指すカトレアグループ。その一環として大野原店では訪問美容にも積極的に取り組む。リニューアルを機にサロンをバリアフリーにするとともに、内堀さんが先頭を切って、介護初任者研修（旧ホームヘルパー2級）の資格を取得。スタッフの間にも機運が高まった。「勤続35年以上の50〜60代のスタッフも、資格を取ってくれました。そのお客様の中には、美容室に行きたくても難しい方が大勢いらっしゃいますが、ともに年齢を重ねてきた美容師がご自宅や施設に伺うことで、見た目が美しくなるだけでなく、心が健康になっていくのがわかるのです」。